

第56回
中央委員会

全ての議案が全会一致で可決

ヤマハ労連は、2020年1月17日(金) TKP浜松アクトタワー ホールAにおいて、第56回中央委員会を開催しました。

第30期前半期の活動経過報告・中間会計報告が承認され、続いて2020年総合生活改善の取り組み方針が全会一致で可決されました。



第56回 中央委員会 審議結果

〈報告承認事項〉

1. 第30期前半期 活動経過報告(中間)承認
2. // 会計報告(中間)承認
3. // 会計監査報告(中間)承認

〈議案〉

- 第1号議案 2020年総合生活改善の取り組み方針(案) ...可決

司会
奥宮中執議長
久保会長活動経過報告
太田事務局長中間会計報告
石塚事務局次長中間会計監査報告
原崎会計監査第1号議案提案
鈴木事務局次長活動報告
松野正比呂磐田市議会議員書記
寺岡(奥)、衛藤(手前) 両中央委員ガンバロー三唱
鈴木副会長

詳細は次ページにて! ▶▶▶



本日はご多忙のところ、ヤマハ労連 第56回中央委員会へ各地よりご参集いただき、誠にありがとうございます。

○昨年の振り返り

令和を迎えた昨年は、スポーツ界での日本人の華々しい活躍が目を引きました。ラグビー日本代表のワールドカップでの活躍、八村塁選手のNBAでの活躍、渋野日向子選手の全英

オープンゴルフでの優勝など、様々な競技で盛り上がりを見せました。一方、世界に目を向けますと、米中貿易摩擦による保護貿易主義の台頭や自国第一主義が世界各国に広がりを見せるなど、先行き不透明な状況が続いた一年でした。

国内では、昨年も大きな自然災害が相次ぎ、私達ヤマハ労連の仲間にも甚大な被害をもたらしました。被害に遭われた皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い生活の再建が図られますようお願いしております。

○ヤマハ発動機グループの状況

昨年は新中期経営計画の1年目でしたが、中間決算時に通期業績見通しの下方修正を行うなど、厳しい状況でのスタートとなりました。経済情勢の変化や自然災害による予測不能の事態など、急激な生産変動の対応に追われた職場も多くあったと思います。厳しい環境の中においても、影響を最小限に留めるべく、職場毎に最大限の努力をされたことと思います。各組合は総合生活改善の取り組みの団体交渉において、そのような組合員の頑張りを会社側へしっかりと伝えていただきたいと思います。

○2020年総合生活改善の取り組み

次に、今年の春の取り組みについてですが、要求案に対する認識・考え方を少しだけ述べたいと思います。賃金については、「働く者の将来不安の払拭と日本経済の自律的成長」の実現に向けた役割を果たすとともに、グループ企業の持続的な発展や魅力向上、人材確保の観点から「人への投資」を求め、引き続き賃金改善に取り組みます。昨年同様に「絶対額を重視する」観点を持ちつつ、個々の組合の目指すべき賃金水準や賃金課題を踏まえ、取り組みを進めていた

きたいと思います。これまで同様に、ヤマハ労連全体で連携し、力強く一体感のある取り組みを進めていきたいと考えています。また、年間一時金に関しては、生計費の一部であるという認識から、賃金に並ぶ重要な柱と考えています。組合役員の皆さんは、期間業績や職場の頑張りを踏まえ、組合員の思いをしっかりと会社へ伝えていただき、真摯な議論を通じた交渉をお願いしたいと思います。

○組織強化活動に関して

昨年4月の統一地方選挙、また7月の参議院議員選挙に関しましては、それぞれの組織における積極的な活動に改めて感謝申し上げます。特に、私達自動車産業の代表として「いそざき哲史」さんを再度国政の場へ送り出せたことには、大きな意義があります。「自動車産業・働く者の代表」として、実現して欲しいこと、解決して欲しい課題を伝え、私たちの声を国会の場で代弁してもらう必要があります。そのためにも「いそざき哲史」さんに積極的に関わり、より強固な信頼関係を作っていくことが重要であると思います。また、ヤマハ労連として今回の組織強化活動を総括し、今後の活動に生かしていきたいと考えています。

「職場の改善」は組合役員・「生活(市街)の改善」は市(県)議会議員・「社会(国)の改善」は国会議員が、それぞれ規模は違いますが、同じように関わっている事を分かっていたら、自分達の環境改善の為に労働組合が政治に関わっている意義を理解していただきたいと思います。

○生活設計の見直し

今年は、阪神淡路大震災から25年になります。また東日本の震災からも10年近くが経過しております。私たちの暮らしも復興が進み、生活水準も向上してきたものと思います。ここで今一度、様々な状況に対応できるよう、生活設計を見直してもらいたいと思います。今回、この中央委員会の前段で、自動車総連だからできる有利な資産形成に関するセミナーを実施しました。今後、より一層の自助努力が求められる時代になることが予想される中、生活設計見直しの一助としていただきたいと思います。

○最後に

今年一年がヤマハ発動機グループで働く組合員の皆様・ご家族にとって充実した年になるよう、私達も精一杯の努力をしていきますので、今後もヤマハ労連の活動への積極的なご参加・ご協力をお願いします。



自動車総連 第87回 中央委員会
2020年総合生活改善スローガン

新しい時代に向けて
みんなで更なる一步を踏み出そう!

1月9日、自動車総連の第87回中央委員会が開催されました。高倉会長は冒頭挨拶で、昨年より推進している「絶対額を重視した取り組み」に触れ、加えて今次取り組みでは、これまで以上に企業内最低賃金の取り組みを強化していきたい、と述べられました。

報告承認事項・議事はすべて満場一致で承認・可決され、2020年総合生活改善の取り組みに対して、一致団結して臨むことを確認しました。

2020 年総合生活改善の取り組み方針（案）、活動経過報告に対し 中央委員からの質問・意見を執行部は真摯に受け止め、答弁しました。

年間一時金に対する労連方針について

質問 ヤマハ発動機労働組合 江上中央委員

昨年の一時金の会社回答は、年間一括回答がされず、下期一時金について、経営環境に大幅な変化があった場合には再協議の申し入れを行うとの付帯事項が付きまして、ヤマハ労連内の複数の組合においても、このような回答がされたと認識しています。

付帯事項に対するヤマハ労連の方針を確認させていただきたい。



執行部答弁 鈴木事務局次長

ヤマハ労連としては、付帯事項無しの年間一括回答を引き出すことを方針としています。

一時金は、年間賃金として生活設計を組み立てる上で非常に重要であり、組合員の皆様の安定した生活を確保し、仕事に専念できる環境を作り出すためにも、年間での安定した確保が重要であると考えています。



契約保養施設の拡大について

質問 ヤマハ発動機労働組合 平野中央委員

契約保養施設について、現在利用できる施設の所在地に偏りがあり、九州や東北で働いている組合員から利用できる施設が遠く、なかなか利用することができないという声が挙がっています。組合員の余暇支援の充実に向けて、利用できる契約保養施設の拡大に取り組んでいただきたい。



執行部答弁 太田事務局長

契約保養施設の件、東北・九州に利用できる施設が少ないということで、東北・九州に所在する労組の組合員にとって利用が難しいという課題については、認識しています。

今後、新たに別の保養施設を契約できるかどうか、費用対効果など全体のバランスを見ながら検討していきたいと考えています。



組織内議員活動報告

〇福祉について

現在、磐田市にも最低賃金程度の収入で生活をしている人が多くいます。昨年10月に、幼稚園・保育園の保育料が無償化されましたが、低収入世帯はもともと保育料が低く設定されているため、この制度はある程度収入がある層が、より恩恵を受けるものです。また、子育て中のお母さん方に話を聞くと、自分の勤めている会社では、育児休職も満足に取得できないという声を耳にします。

皆さんの労働組合と同じく私たち議員も、磐田市で働く人の生活の底上げをどうやって実施するか、常日頃考えて活動をしています。

〇産業について

現在、ヤマハ発動機が磐田市において自動運転車両の公道実験を始めています。地方のお年寄りや子供のための移動手段として、安価で利用可能な低速運転車両を提供できるかといった実証実験です。自動車に関しては、バスやトラックなどの運転手不足は今後更に深刻になっていくでしょう。昨年、磐田市でも路線バスが2路線廃止となっています。そういった状況の中で、自動運転車両の早期実用化に期待をしています。



松野正比呂
磐田市議会議員

ファイナンシャルプランニングセミナー開催報告

～自動車総連だからできる有利な資産形成の方法～

2020年1月17日(金)
TKP浜松アクタワー
カンファレンスセンター

2020年1月17日に中央委員会の前段にて、株式会社FPユニオンLaboの宮越肇さんを招き、ファイナンシャルプランニングセミナー「自動車総連だからできる有利な資産形成の方法」を開催しました。セミナーではライフプラン設計において、以下の3つの観点について説明がありました。



①老後資金における自助努力の必要性

医療技術の進化により平均寿命は延び続け、これから人生100年時代に突入していく。しかし、少子高齢化や平均余命の伸びなどの影響により年金受給額は減少している一方、高齢夫婦無職世帯の支出は横ばいとなっており、老後資金においては、今後より一層の自助努力が求められる。

②老後資金の貯蓄計画について

老後資金については、「教育資金」、「住宅資金」などが重なるタイミングで苦しくならないよう、先を見据えた計画を立てる必要がある。貯蓄が行いやすい期間は、一般的には就職後から子どもが幼少期の期間と、子どもが独立後から定年退職するまでの期間となるが、結婚や子どもの出産などのライフイベントのタイミングは個人によって異なるため、若年層のうちからコツコツ貯蓄することが、十分な老後資金の確保につながる。

③資産形成のポイントについて

【利回りを考慮する】

一般的な普通預金(利率年0.001%)で月々30,000円、35年間貯蓄した場合に比べ、自動車総連積立年金(利率年1%)で同様の貯蓄をした場合、**約250万円の差**が発生する。

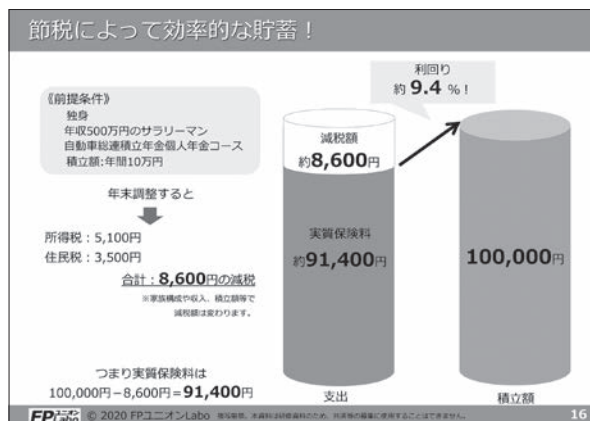
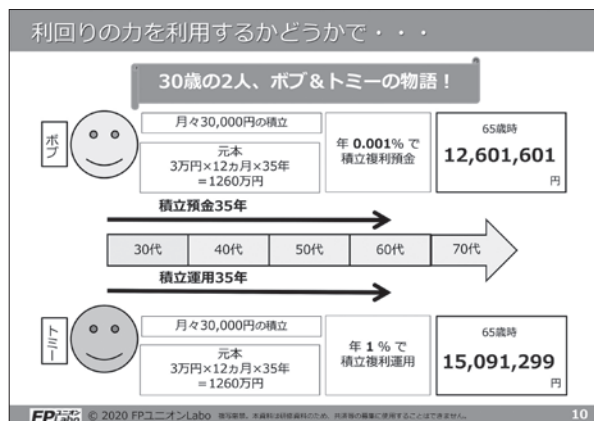
【資産の流動性を考慮する】

老後資金においては、事故や病気などによって一時的に生活資金に充てる場面も想定される。30歳から月々10,000円で加入した場合、一般的な個人年金保険は、解約時に元本割れを回避するために必要な期間が20年以上となるのに対し、自動車総連積立年金は4年経過後から解約時に元本割れが発生しない。また、計画的な貯蓄のためには、家計の支出額に併せて貯蓄額の変更が必要となる。一般的な個人年金保険は、積立額を途中で変更できないことが多いのに対し、自動車総連積立年金では半年ごとに積立額の変更が可能となる。

【保険料控除を活用する】

自動車総連積立年金には2つのコースがあり、それぞれ「個人年金保険料控除」、「一般の生命保険料控除」と保険料控除の種類が異なっている。それぞれ保険料控除額には上限が設けられているため、個人が加入している生命保険などを踏まえ、加入するコースを検討する必要がある。

昨年6月に金融庁が「老後資金2000万円不足」の報告書を発表したことで、老後資金に対する将来不安が高まっており、今後より一層の自助努力が求められることが想定されます。ヤマハ労連では引き続き、ライフプラン設計の必要性などの啓蒙活動や共済の推進活動に努めてまいります。



月々101,000円から
積立!

自動車総連 積立年金

スマホ等でア
クセスください。
説明動画が視聴
できます。



加入例：月 払 5,000円
ボーナス 50,000円

30年間で積立金が
約81.1万円も増加します!

加入期間	払込掛金合計額	積立金額	増加分
10年	160万円	約166.1万円	約6.1万円
20年	320万円	約352.4万円	約32.4万円
30年	480万円	約561.1万円	約81.1万円

記載の給付額は、各引受生命保険会社の予定利率を引受割合に基づき加重平均した率年1.25%にて計算していますが、実際にお支払する金額は変動することがあり、将来のお支払額をお約束するものではありません。

申込書のご請求・お問い合わせは所属労組役員まで

予定利率は

年 **1.25%**

※予定利率については将来変更される場合があります。

※制度内容等詳細はパンフレットをご覧ください。



ヤマハ労働組合連合会は、静岡県豊かな森林づくりをサポートしています。
この「ふじのくに森の町内会」の紙には、林地に捨てられる間伐材を、資源として活用する費用の一部が含まれています。

ヤマハ労働組合連合会